

参加要項







第61回 日本産業広告賞のご案内

日本産業広告賞は日刊工業新聞社が産業広告の健全な 発展と質的向上を図る目的から、1966年に制定以来毎 年実施しているものです。

61回目に当たります今回の日本産業広告賞も本賞制 定の目的達成に向けて更に前進するため、新聞部門、雑 誌部門、情報誌部門の参加作品を広く募ることにいたし ました。

時代のスピードに対応しつつも、時として厳しい経済 環境に直面している産業界で、企業理念の発露として、 またマーケティング活動の一環として、産業広告がその 役割を十分に発揮する必要性が高まっております。

奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

第61回 日本産業広告賞

《新聞部門》

日刊工業新聞広告大賞

本社賞/楯、海外研修招待

■第1部-----

-第1席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー、海外研修招待

第2席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー、海外研修招待

第3席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー、海外研修招待

佳 作(3点) 本社賞/賞状、産業団体賞/トロフィー

■第2部-

- 第1席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー、海外研修招待

第2席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー、海外研修招待

第3席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー、海外研修招待

佳 作(3点) 本社賞/賞状、産業団体賞/トロフィー

■シリーズ広告賞一

- 第1席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー、海外研修招待

第2席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー、海外研修招待

第3席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー、海外研修招待

佳 作(3点) 本社賞/賞状、産業団体賞/トロフィー

※特別賞に該当する場合(若干点)本社賞/賞状・記念品

《雑誌部門》

第1席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー、海外研修招待

第2席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー

第3席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー

佳 作(3点) 本社賞/賞状、産業団体賞/トロフィー

奨励賞(若干点)本社賞/賞状·記念品

※特別賞に該当する場合(若干点)本社賞/賞状・記念品

《情報誌部門》

第1席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー、海外研修招待

第2席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー

第3席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー

佳 作(2点) 本社賞/賞状、産業団体賞/トロフィー

奨励賞(若干点)本社賞/賞状·記念品

※特別賞に該当する場合(若干点)本社賞/賞状・記念品

新聞部門参加規定

■応募要領 –

-ひろく産業界を対象とした広告で新聞部門は日刊工業新聞(全国版)への掲載をもって参加資格といたします。 なお応募点数についても制限はありません。

■審査対象-

〔日刊工業新聞〕

《日刊工業新聞広告大賞》 新聞部門の入席作品を対象とする。

《第 1 部》 スペース 15 段以上を対象とする。

《第 2 部》スペース2.5段以上15段未満を対象とする。

《シリーズ広告賞》 スペース制限なしで、3点以上を対象とする。

■掲載期間-

-2025年9月22日(月)~2026年9月18日(金)

■入賞発表 -

-2026年11月中旬の日刊工業新聞紙上にて発表。

■注意事項 –

- ●参加作品の掲載時には必ず日本産業広告賞「参加申込書」を提出 して下さい。
- ●参加作品は出稿契約枠外の臨時出稿といたします。
- ●参加作品に模倣などの事実が判明したときは、参加資格および 入賞を取り消します。
- ●カラー作品については、掲載日の調整をお願いすることがあります。
- ※同一図案の複数の部門に応募することは認めません。
- ※同一企業が同一内容の作品を各部門にわたって応募され、審査の 結果、複数部門で入席した場合は、原則として上位席次作品を入席 とします。

雜誌部門参加規定

■応募要領-

-ひろく産業界を対象とした広告で、日刊工業新聞社発行の月刊誌 5誌に掲載をもって参加資格といたします。とくに業界、業種につ いての制限はありません。

なお応募点数についても制限はありません。

■掲載雑誌 ――――プレス技術・機械設計・機械技術・型技術・工場管理

■審査対象 — 1 頁以上(表紙·挿込みを含む)。

■掲載月号 -----2025年10月号~2026年9月号

■入賞発表 ――――2026年11月中旬の日刊工業新聞紙上にて発表。

■注意事項 ――――●参加作品の掲載時には必ず日本産業広告賞「参加申込書」を提出 して下さい。

- ●5誌の同月号に同じ作品を2誌以上掲載する場合は、発行日の 早い雑誌のものを参加作品とします。
- ●参加作品は出稿契約枠外の臨時出稿といたします。
- ●メーカー、販売店などとのタイアップ広告の場合はいずれか 一社名でお申し込み下さい。
- ●参加作品に模倣などの事実が判明したときは、参加資格および 入賞を取り消します。
- ●カラー(4色)広告のポジ合成は2点以内。
- ●広告原稿は、データ入稿を原則とします。
- ※同一企業が同一内容の作品を各部門にわたって応募され、審査の 結果、複数部門で入席した場合は、原則として上位席次作品を入席 とします。

情報誌部門参加規定

■応募要領 –

-ひろく産業界を対象とした広告で、日刊工業新聞社発行の「新製品情報」 誌への掲載をもって参加資格といたします。とくに業界、業種についての制限はありません。なお応募点数についても制限はありません。

■審査対象 ————4/4 頁以上(表紙·挿込みを含む)。

■掲載月号 -----2025年10月号~2026年9月号

■入賞発表 ――――2026年11月中旬の日刊工業新聞紙上にて発表。

■注意事項 ●参加作品の掲載時には必ず日本産業広告賞「参加申込書」を提出 して下さい。

- ●参加作品は出稿契約枠外の臨時出稿といたします。
- ●メーカー、販売店などとのタイアップ広告の場合はいずれか 一社名でお申し込み下さい。
- ●参加作品に模倣などの事実が判明したときは、参加資格および 入賞を取り消します。
- ●広告原稿は弊社の仕様書に沿って完全データで入稿して下さい。 出力見本を必ず2枚添付して下さい。
- ※同一企業が同一内容の作品を各部門にわたって応募され、審査の 結果、複数部門で入席した場合は、原則として上位席次作品を入席 とします。

審查委員/表彰式

審查委員長 早稲田大学 商学学術院教授 **嶋 村 和 恵**

東京コピーライターズクラブ会長 **谷 山 雅 計**

専修大学 経営学部教授 **石 崎 徹**

青山学院大学 経営学部教授 **芳 賀 康 浩**

東京工芸大学 名誉教授 福島 治

日本工作機械工業会 専務理事 **柚 原 一 夫**

日本産業機械工業会 代表理事·専務理事 **秋 庭 英 人**

一般社団法人日本電機工業会 専務理事

中嶋哲也

旭化成株式会社 広報部長 坂 元 善 洋

NEC フィールドマーケティング統括部 統括部長

戸 田 淳

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 ブランドコミュニケーション本部 メディア戦略部 部長

北 島 由美子

株式会社クボタ KESG推進部 担当部長 **廣 瀬 文 栄**

コマツ ブランド戦略事業部 コーポレートブランディンググループ GM

株式会社スギノマシン 代表取締役社長

山 本 克 明

杉 野 岳

パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社 コーポレート・コミュニケーションセンター所長 **深 尾 祐紀子**

日立建機株式会社 理事 ブランド・コミュニケーション本部長 **紺 野 篤 志**

富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社

宣伝部 部長 朝 倉 孝 幸

富士通株式会社 グローバルマーケティング本部 コーポレートブランド統括部 ブランドエクスペリエンス部 メディアエキスパート

白 石 陽太郎

エフサステクノロジーズ株式会社 インフラサービス部門 業務推進統括部 シニアディレクター

出口拓夫

三木プーリ株式会社 代表取締役社長 グループCEO

三木康治

三菱電機株式会社 ブランドコミュニケーション部 新規プロジェクト担当部長

桑畑一浩

株式会社安川電機 コーポレートブランディング本部 広報・IR部長

加藤貴亮

日刊工業新聞社 小 原 敏 永

日刊工業新聞社 **拝 原 泰 介**

日刊工業新聞社 宇田川 勝 隆

(順不同 敬称略)

■審 査 上記審査委員による「日本産業広告賞審査委員会」で厳正に 行われます。産業広告としての明確なコンセプト、訴求力、ア イデア、デザイン、コピーを勘案して総合的に審査します。

■表彰式 — 2026年11月下旬、東京都内のホテルにて新聞部門、雑誌部門、情報誌部門の関係者の出席により、第61回日本産業広告賞の表彰式を執り行います。

■その他 — ●本賞の詳細について、また応募にあたってのお問い合わせは 本社、支社の係までご連絡ください。

前回の受賞作品

《新聞部門》

日刊工業新聞広告大賞



1951年に誕生したパナソニックの一般照明用蛍光灯は、2027年9月までにすべての生産を終了します。 これからは、人にも環境にも配慮したLEDが、あなたと共に未来を照らし続けます。

①デコ活 パナソニックは、LED照明の普及を通じて環境省が推進する国民活動「デコ活」を応援します。



1951年に誕生したパナソニックの一般照明用蛍光灯は、2027年9月までにすべての生産を終了します。 これからは、人にも環境にも配慮したLEDが、あなたと共に未来を照らし続けます。





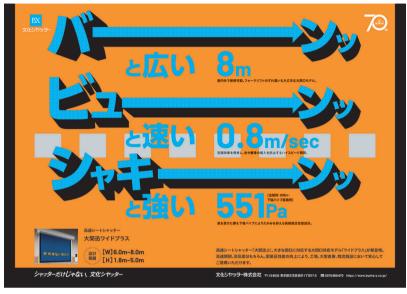
1951年に誕生したパナソニックの一般照明用蛍光灯は、2027年9月までにすべての生産を終了します。

パナソニックのLED :: | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 105-03-07 | 1



シリーズ広告賞 第1席 全15段3本

《雑誌部門》



第1席 2頁

《情報誌部門》



第1席 8/4頁

《協賛経済・産業団体》 (予定:50音順)

//// 日刊工業新聞社

本 社 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1一☎03(5644)7310(直通) 東日本支社 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1一☎03(5644)7266(直通) 西日本支社 〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16 ☎06(6946)3351(直通) 名古屋支社 〒461-0001 名古屋市東区泉2-21-28 ☎052(931)6155(直通) 西部支社 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町1-1 ☎092(271)5716(直通)

https://www.nikkan.co.jp